EIDAI

S701

# 室内ドア

## 開きドアファインモーション金具セット

# 施工・取扱説明書

このたびは、室内ドアをご採用いただきまして誠にありがとうございます。

●施工される方へ［施工説明書　P1～P7］

開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
また本説明書に基づき正しく施工後、本説明書を必ずお施主様へお渡しください。

●お施主様へ［取扱説明書　P7］

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになられたあと、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

●表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して説明します。

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。 |

●お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分して説明します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 禁止 | この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。 | 強制 | この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。 |

もくじ

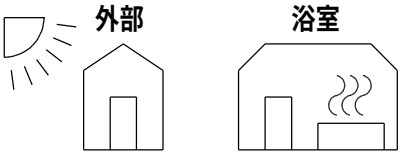

施工上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1．部材・部品表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2．施工手順
　2－1．取り付け前の確認・・・・・・・・・・・・・・・3
　2－2．本体の取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・4
　2－3．受座の取り付け・・・・・・・・・・・・・・4～6
　2－4．受座の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　2－5．閉止力の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　2－6．カバーの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・6
3．お手入れ方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
4．ご使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

# 施工上のご注意

以下の注意事項は、施工される方や住まわれる方への危害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

## ⚠ 注意

本製品は、当社「室内ドア」対応で、一般住宅用（室内専用）です。業務用や屋外または屋外に面する場所や浴室などに使用しないでください。




開梱後、長く放置しておくと変形や埃による作動不良の原因にもなりますのですみやかに施工してください。

本説明書と異なる施工は行わないでください。間違った施工は思わぬ事故や故障の原因となります。また、本説明書と異なる施工で発生した製品の不具合についての返品・取替えはご容赦ください。

本製品の施工時には同梱のビスを使用してください。他のビスを使用すると、本体の脱落やぐらつきなどの原因となります。

水などで「開きドアファインモーション金具セット」を濡らさないようにしてください。故障の原因になります。

インパクトドライバーは使用しないでください。故障の原因になります。

ファインモーション金具のオイルダンパーが使用環境温度の影響を受けて、開きドアの閉まる速度が変化する場合があります。また、ドアのサイズ・重量によってもドアの閉まる速度は異なります。異常ではありません。

ドアを開ける際、ファインモーション機構の解除に伴う抵抗が発生しますが、異常ではありません。

ドアが閉まりきらないような緩やかな速度で閉めた場合は、ファインモーション機構が作動しない場合があります。

換気扇の使用、窓・ドアの開閉に伴う気圧の変化によってファインモーションが最後まで引き込まず、ドアが最後まで閉まりきらない場合があります。ご容赦ください。

## １．部材・部品表

施工前に部材・部品の梱包内容をお確かめください。

■ＴＤＢ－１Ｓ１シリーズ

| 部材名・形状 | 入数 | 部材名・形状 | 入数 |
|---|---|---|---|
| 本体　※ | 1 | 本体取付用皿ビス<br>（呼び３．５×３５） | 2 |
| 本体カバー　※ | 1 | 受座取付用ビス<br>（呼び４×１６） | 2 |
| 受座　※ | 1 | 受座取付テンプレート | 1 |
| 受座カバー　※ | 1 | 施工・取扱説明書（本書） | 1 |
| 受座スペーサー | 2 | | |

※　図は右吊元用です。左吊元用は左右対称形状となります。

## ２．施工手順

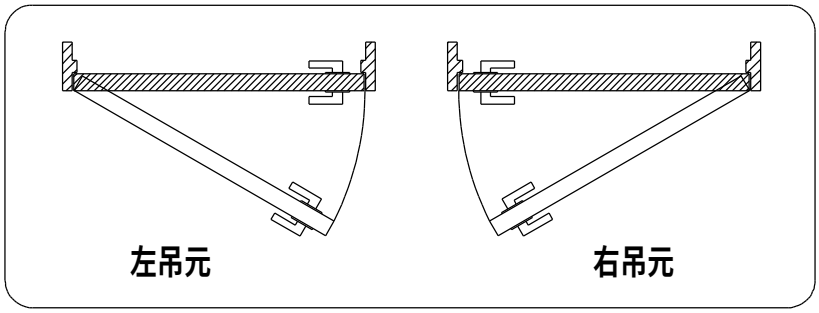
### ２－１．取り付け前の確認

■ドア吊元方向の確認

・ドアを手前に開くとき蝶番が右側にある。　⇒ＴＤＢ－１Ｓ１●－●Ｒ（右吊元用）をご使用ください。

・ドアを手前に開くとき蝶番が左側にある。　⇒ＴＤＢ－１Ｓ１●－●Ｌ（左吊元用）をご使用ください。

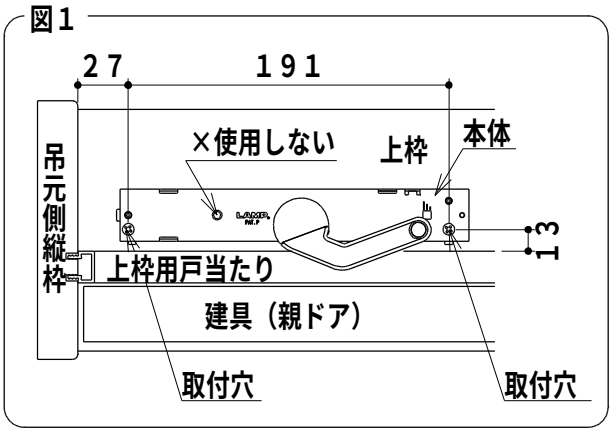
●には色柄記号が入ります。

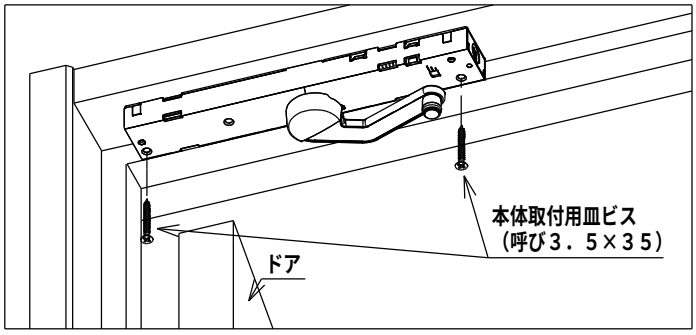


## 2－2．本体の取り付け

①図１の取付穴位置にφ２．５～３、深さ２mmの下穴をあけ、付属の本体取付用ビス（呼び３．５×３５）２本で上枠の吊元側に取り付けます。

※親子ドアの場合は親ドア側に下穴をあけて取り付けてください。



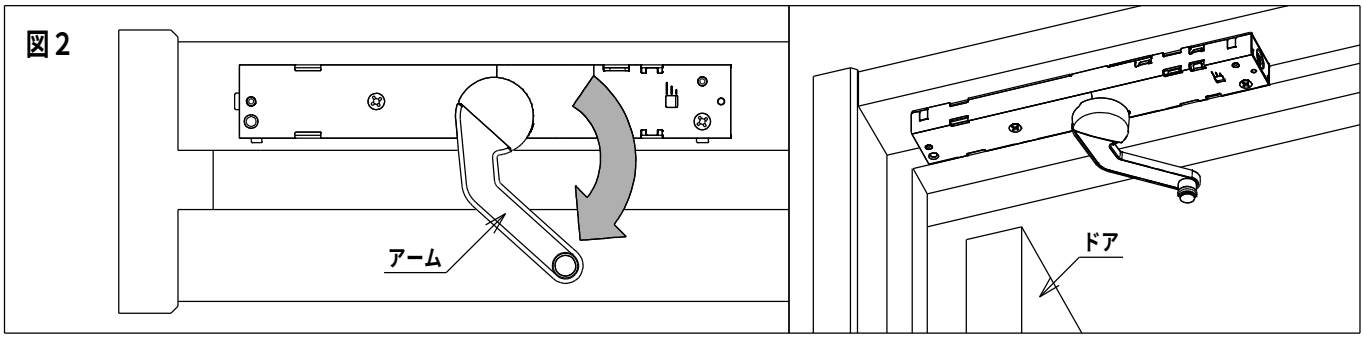




※図は右吊元の場合です。左吊元は左右対称となります。

強制

本体と上枠の間にすき間ができないようにしっかりと固定してください。
すき間がありますと、本体のぐらつきの原因となります。

②アームを矢印の方向に図２の位置まで引き出します。
（アームが引き出されていない状態ではファインモーションは機能しません。）

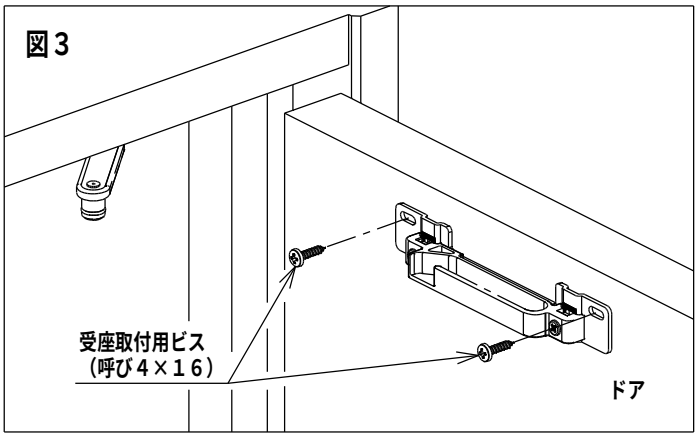



お願い

アームを上下方向やアーム全開位置からさらに矢印の方向へ力を加えないでください。
破損の原因となります。

## 2－3．受座の取り付け

①受座を付属の受座取付用ビス（呼び４×１６）２本でドア上部の吊元側に取り付けます。（図３）

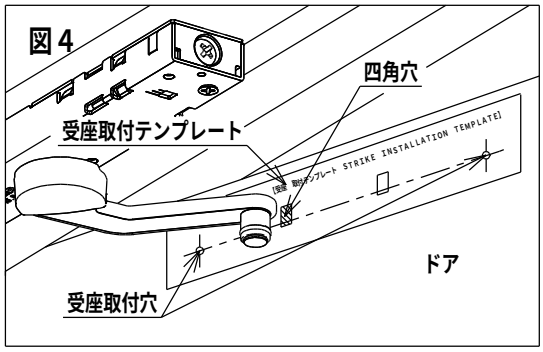


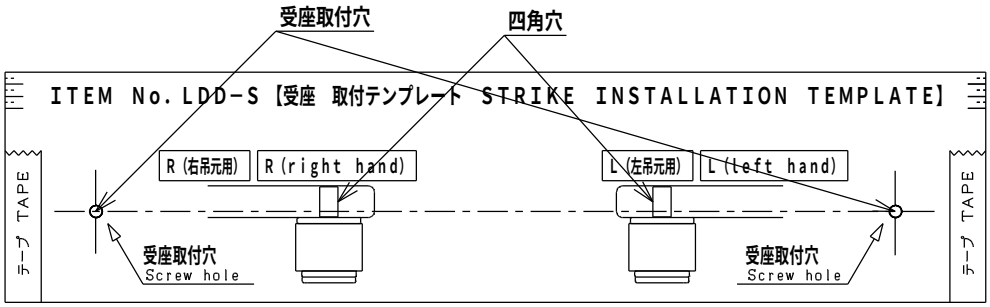
## 受座の位置決め

付属の受座取付テンプレートを使用して、受座の位置決めを行ってください。（図４）

（１）ドアをゆっくりと閉めながら、アームの先端と受座取付テンプレートの四角穴を合わせてください。

（２）ドアの上端面と受座取付テンプレートが平行になるよう調整し、受座取付テンプレートの２箇所の取り付け穴に印を付けてからφ２．５～３、深さ２mmの下穴をあけてください。
その際、受座取付テンプレートをマスキングテープ等で仮固定すると作業が容易に行えます。

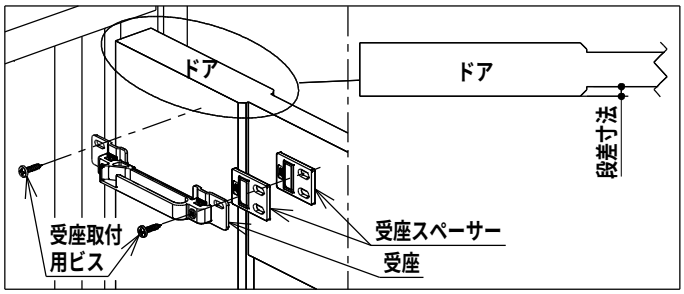


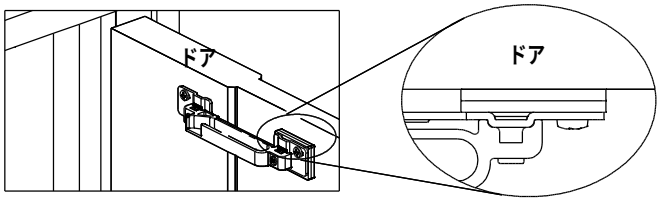




## 受座取り付け場所に段差のある場合

■受座スペーサーを使用します。

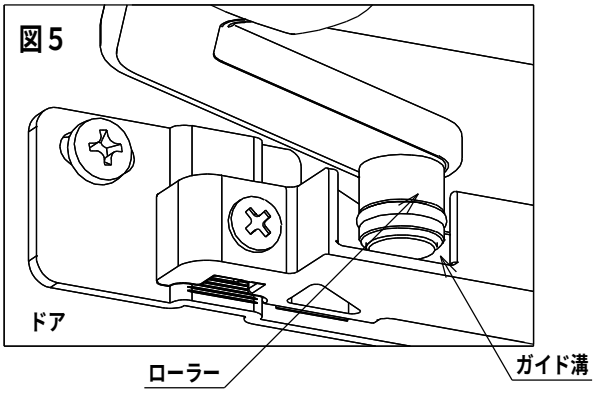
右図のようにドアの段差（段落ち）部分に受座スペーサーを受座とドアの間に挟み、受座取付用ビスで取り付けます。
※段差がない場合には、受座スペーサーは使用しません。

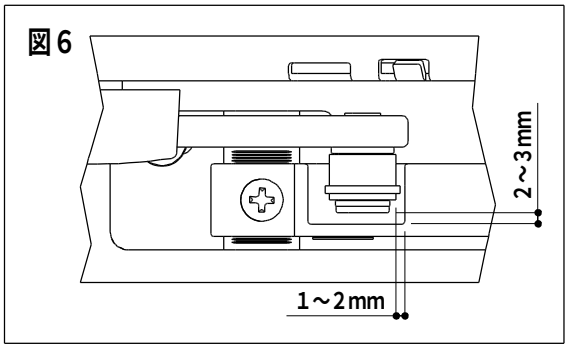



②ドアをゆっくりと閉め、アームのローラーが受座のガイド溝に入るかご確認ください（図５）

③ローラーとガイド溝のすき間が図６の範囲に入っていない場合は、受座の上下・左右調整を行ってください。
（詳細は６ページ：２－４．受座の調整をご参照ください）

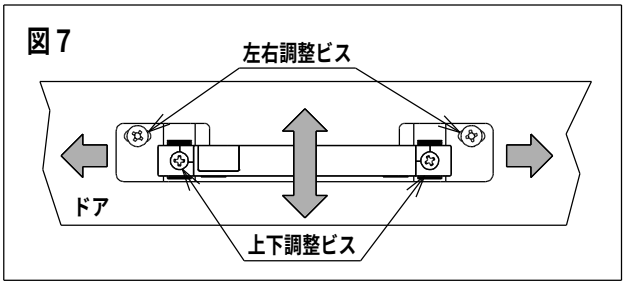


④ドアをゆっくりと開閉し、正常に作動することをご確認ください。
正常に作動しない場合は再度、受座の位置調整（２－４．受座の調整　参照）を行ってください。

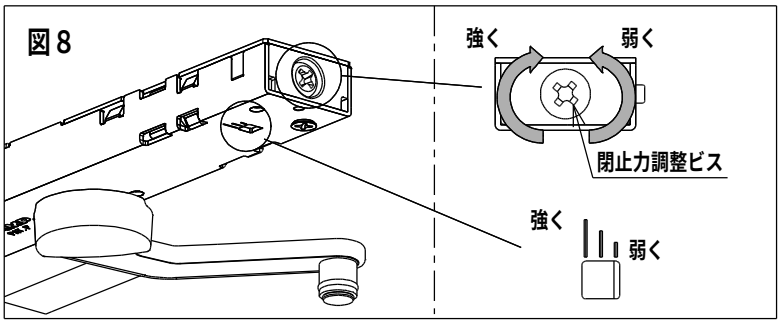
## ２－４．受座の調整

ローラーがガイド溝に入らない場合、ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合は受座の上下・左右を調整してください。（図７）



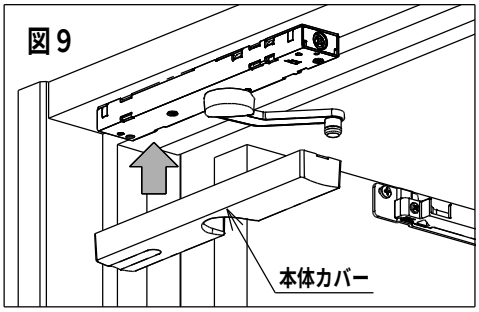

## ２－５．閉止力の調整

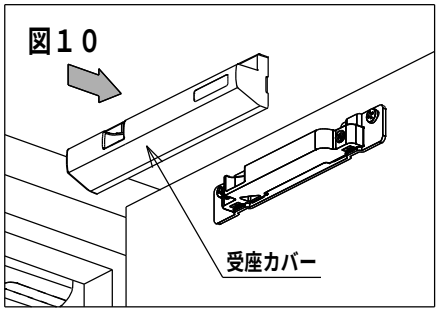
閉止力が弱い場合（ドアが閉まりきらない場合等）
⇒本体の閉止力調整ビスで閉止力を調整してください。（図８）



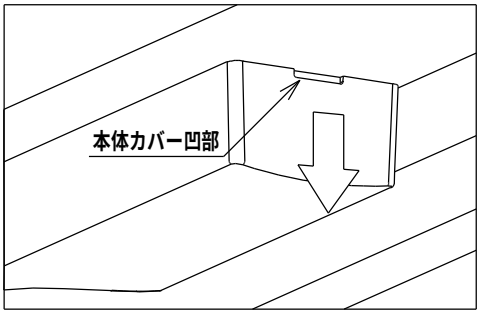

## ２－６．カバーの取り付け

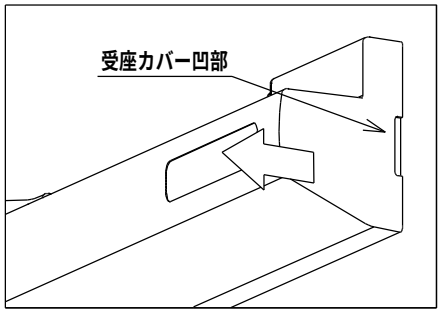
ドアを開いた状態で本体カバー、受座カバーを取り付けます。（図９、図１０）




■カバーの取り外し方法
ドアを開けた状態で、カバーの凹部にマイナスドライバー等を差し込み、矢印の方向に引き出してください。
反対側はつまんで両側均等に少しずつ取り出してください。




お願い　ドアにキズをつけないよう慎重に作業を行ってください。

## ３．お手入れ方法

・各カバーの表面が汚れた時は、水をふくませた柔らかい布を固く絞り、汚れを軽く拭き取ってください。

| | |
|---|---|
| お願い | ・酸性、アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。変色やサビ、割れの原因となります。<br>・ファインモーション金具には、潤滑油等を塗布しないでください。ブレーキ力が弱まり、ファインモーション機構が作動しなくなる場合があります。 |

## ４．ご使用上のご注意

・ファインモーション機構は、あくまでも日常生活においてドアが閉まる際の衝撃を抑え、静かに閉めるためのものです。指挟みを防止するものではありません。故意に勢いよく閉めたり、強風によって急速に閉まるような場合、ファインモーション機構による減速効果は得られません。

・ファインモーション金具のオイルダンパーが室温などの影響を受けて、開きドアの閉まる速度が変わる場合があります。また、ドアのサイズ・重量によってもドアの閉まる速度は異なります。異常ではありません。

・ドアを開ける際、ファインモーション機構の解除に伴う抵抗が発生しますが、異常ではありません。

・ドアが閉まりきらないような緩やかな速度で閉めた場合は、ファインモーション機構が作動しない場合があります。

・換気扇の使用、窓・ドアの開閉に伴う気圧の変化によってファインモーションが最後まで引き込まず、ドアが最後まで閉まりきらない場合があります。ご容赦ください。

・ドアを開け放した状態にするときは、ドアストッパー（別売）などをお使いください。強い風などで勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをする恐れがあります。
なお、マグネットストッパーをご使用の際はしっかりかかるよう加減をして開閉してください。

・ご使用中にアームに物を掛けたり、調整をする際にアームに無理な負荷を掛けないでください。アームが破損する原因となります。

・ご使用中も定期的に各ビスの緩みや脱落等がないかご確認いただき、増し締めを行ってください。

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問い合わせください。

**永大産業株式会社**
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120-685-110
受付時間 平日 9:00~18:00 土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始
E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp

S701Ie1808nkEP 第3版